

文芸コーナー

菊水短歌会

先の世もわれにつきくる花々か
夜のほどろのおしろいの花
病院から施設に移る萩咲く日
何思う父か着替すすまず
雲間には欠けたる月の輝けり
地上に虫の音のひびきいて
父の日に亡き夫思い娘と語り
互の頬に涙ながれる
いくさ無き穏やかな平成三十年も
想定外の酷暑に終るや
自家製の胡瓜を手にし飲むビール
夫の笑顔に暑さを忘る

かなしき原俳句会

七夕や幼きころにもどりたし
片隅にこほろぎの鳴く夜更けかな
賑やかな風に稲穂の踊りだす
はなすき
冷泉に這入れぬ老いや花芒

謙 良 誠
三 一 一 淑

波がしら砕きくだきて台風来
とうろう
蟪蛄の斧ふりかざし対峙せり
たじ
鈴虫を子守歌とし眠りをり
明日はもう聞けぬ声かも法師蟬
まうねんはたち
還らざる行年二十歳鰯雲

弘 康 淑 しん 貞
子 子 乃 子 子

菊水俳句会

静かなる余生や庭の草の花
庭に吹く風が知らせし今日の秋
緑陰や子らの集うてコンサート
台風のそれで彼の地の被害かな
山頂に秋の白雲あふれけり

宮中ミスエ
宮中 康雄
永田 絃彦
池田 松子
中山ミサト

肥後扭句

やおいかん モッコス様が一人いて
やおいかん 正直者で通つとる
やおいかん 猛暑に負けず草は生え
やおいかん オモチャの前でバタぐらう
しもたー あの一言が多かつた
しもたー 過去ほじくらす興味のある
むぞらしか 古いアルバム見てはいよ
むぞらしか 歩き始めた孫の靴
むぞらしか 泣こが笑おがひ孫ちゃん

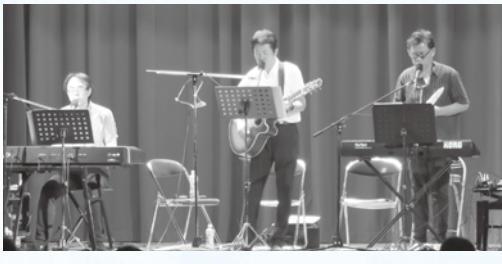
福永すみれ
後藤 撫子
池田 茜
庄山 道草
井上りんどう
二瀬 桔梗
高木せいや
石原かわせみ
瀬上 歌子

人権の窓
26

今年の八月七日(火)、「第一回和水町人権の集い」が三加和公民館で開催されました。

まず初めに、「親子で綴る人権標語」優秀賞親子の表彰式が行われました。続いて人権バンド「ゆう」による人権コンサートが行われました。

「身近な人権」というテーマを掲げ、本当にあった出来事を、語りと歌で私たちがどう生きて行くのかを深く考えさせてくれました。



「障がいを持って生まれた姉のことのでいじめられ、いつの間にか姉をいじめてしまった悲しい自分。その過ちにやっと気づき、姉を語れるようになった自分が好き。姉ちゃんも生まれた人間として。僕も生まれた人間として」という姉を取り戻していく歌は、私の心に深く突き刺さってきました。また、「年老いた私」が、今までの私と違っていたとしても、どうかそのままの私のことを理解してほしい。…私の人生の終わりに少しだけ付き添ってほしい自分。」

「心が震えた人権の集い」

い」と介護される親が我が子に切々と願いを綴った「手紙」等々。

およそ二百名もの参加者の皆さんが、目頭を押さえながら聴き入っておられました。そして、「本当に来てよかった。素敵な歌声に心がふるえました」等、心温まる感想をたくさん寄せていただきました。

「日々の生活に追われていると『人権なんてどこか遠いところにあるもの』という思いがあった。でも講演を聴き、『人権』は身近にあるものだと感じた。私は家族を介護しているうちに、『してやっている』という気持ちになり、腹を立てることもあった。『手紙』という歌を聴き、自分を恥ずかしいと思った。講演会に行つたことで、介護生活に少し積極的になれた。」「音楽による人権の講演会ってどんなものかと単純に興味を持ち参加。人権バンドゆうの方々の体験に、基づく言葉が、悲しく、優しく、時には激しく、五感を貫く。その声、音色が心を貫く。終わってみれば、清々しさに包まれた。一瞬にして奪つたり奪われてしまう儚い人権を、近く感じ考えた機会となった。人権教育や啓発が不要になる社会を希望し、願う。」

参加者の皆さん、人権の集いを支えていただいた皆さん、本当にありがとうございました。

図書室
本紹介

中央公民館
図書室より

Message Card

今月は、「エコ」をテーマにした本を紹介しています。物が豊富にある今だからこそ、物の大切さをもう一度考えたい。子どもたちに伝えたい！ぜひ手に取ってみてください。

大江戸リサイクル事情

著者 .. 石川 いしかわ

英輔、株式会社・・講談社文庫



人口百万を数え、近世では世界最大の都市と言える「江戸」。膨大な日常消費は、草の根レベルの活発なリサイクルで支えられていた。現代では忘れられ、失われてしまった江戸庶民の合理的で無駄のない暮らしを描いた一冊です。

地球のためにわたしたちにできること③
リサイクルのためにできること

著者.. 奈須なす

紀幸、株式会社・ポプラ社



地球のために、自分に何ができるかを考えるシリーズの中の一冊。この本を参考に、自分にできそうなことから「リサイクル生活」はじめてみませんか？親子で読んでほしい一冊です。

エコQ & A 1000 ④

日本人のエコの知恵

著者 .. 石川 いしかわ

英輔、株式会社・ポプラ社



るのが「エコ」。江戸時代の日
本人の暮らしを紹介し、無駄
がほとんどなかった暮らしか
ら学ぶべきことを考えます。
Q&A方式でわかりやすく、
道具の写真も満載です。

リサイクルプラザつつしん

10月リサイクル体験受講者募集

申込先：クリーンパークファイブ
住 所：玉名郡長洲町大字名石浜42番地1
☎ 0968・78・4433

日	とき	講座名	講師名	募集人員	募集期間	準備するもの
23日(火)	午前9時30分 ～午後3時	帯リフォーム 「帯で作るミニバッグ」	土山千代子氏	10人	電話受付	①裏地用の綿の布(70cm以上) ②裁縫道具 ③筆記用具 ④色に合わせたミシン糸 ⑤弁当 ⑥材料費1,500円 ※帯は先生が用意されます。
					1日(月)午前9時～ 15日(月)午後3時	
					希望者多数の場合の抽選日	
					18日(木)午前10時	

受付方法

電話にて受付を行い、受講希望者が多い場合は抽選となります。
その場合は、電話にてご連絡いたしますので必ず受付時、連絡の取れる電話番号をお願いします。
お気軽にお申し込みください。